

うえだ 環境市民会議 News

第24号

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行: うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16

上田市生活環境課内

電話: 0268-23-5120

FAX: 0268-22-4127

E-mail: seikan@city.ueda.nagano.jp

5年目を迎えて

うえだ環境市民会議議長 柴崎茂利

6月6日～8日、ドイツのハイリゲンダムで開催された主要国首脳会議において、各国首脳は「2050年までに温室効果ガスの排出量を少なくとも半減させるとの欧州連合やカナダ、日本の決定を真剣に検討する」事で合意した、と報じられました。これにより国際的な枠組みづくりが始まる事になった訳です。その直後の6月19日にオランダの政府系環境評価機関が、CO₂の2006年排出量で、中国が62億トンと米国を抜き世界最大となったとする調査結果を発表しました。

これら世界の動きの中で、私たちの日常生活には大きな変化は見られません。しかし、地球環境は確実に変わっている事を、私たちにとって一見「不都合」ではあるがその「真実」を認識しなくてはいけないのでしょう。

さて、うえだ環境市民会議が発足して5年目に入りました。私も議長として3年目となりました。私たちは、自分たちで出来る小さな自然環境保護活動や環境保全活動を進めてきました。これからも「千里の道も一步から」の声援(諺)を頼りに、一步一歩確実に環境活動の輪を皆さんと一緒に広げていきたいと考えています。

健全で豊かな環境の上田市をめざして

うえだ環境市民会議副議長 山口春香

この度の役員改選で、図らずも副議長という大任を仰せつかりました。もとより力不足の私ですが、企画運営委員の方々はじめ会員の皆様のご協力を頂き、微力では

ございますがその任を果たして参りたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

ご承知のとおり、当市は昨年、4市町村が合併し「新生上田市」として新たなスタートとなりましたが、いろいろと温度差を感じながらも、それぞれの地域で「上田らしさ」を発揮し大切にして参りたいと思います。特に環境問題については地域の特性を活かし、美しい自然環境を次世代に継承していくことが私達の責務です。

なお、今年4月に施行された「上田市環境基本条例」の基本理念を実行するため、私たち市民は日々の生活の中で一人ひとりが出来ることから実践し、市、事業者、市民がそれぞれの責務を担い「健全で豊かな上田市」を築くことが肝要です。

資源循環型施設の公開学習会に参加して

関崎岩雄

7月6日に資源循環型施設(統合ごみ処理施設及びリサイクルプラザ)について、上田地域広域連合の堀内室長を講師に招いて公開学習会をうえだ環境市民会議ごみ減(530)チームが開催しました。

候補地選定の経過と、最終的に広域連合として建設地を東山地区に決定したことについて説明がありました。今後は「住民のみなさんと作り上げる」を基本理念として、情報公開と意見集約を徹底して行う、としています。しかし、下之郷地域の住民や企業が建設反対の意思表示をしている現在、先の見通しは立てにくい状況にあるようと思われます。焼却場の必要性は認めるものの自分の居住地には建設してほしくないというのも、利己主義的

だと決め付けられないように思います。

上田市は平成12年に「生ごみ処理に関する懇話会」を設け、翌13年に提言を受けました。現在、生ごみは可燃ごみの4割くらいを占めているとのこと。生ごみは全家庭が関わっているものですから、この機会に家庭ごみを減らすことを全市民に強力に働きかけ、全市民参加の最終処分場建設を目指したらどうでしょうか。遠回りのようですが、案外近道なのでは…。

千曲川のもうひとつの源流を求めて

野々村孝子

上田市内を流れている千曲川は、依田川水系や神川水系の水がたくさん入ってきています。7月11日に依田川水系の源流を市民28名で訪ねてきました。

午前中は雨の中、蓼科山の伏流水が湧き出す御泉水自然園の中を散策し、ゴボゴボと音を立てて湧き出す水や御泉水川となり流れ出て行く所を見学しました。昼食後、地元の矢島さんに案内して頂き、武石川上流の美ヶ原から流れてくるお仙が淵を見学し、武石川に住む水生生物を見せて頂きました。やはりきれいな水に棲むものばかりでした。その後、武石の福寿草の群生地の近くの福寿の水の湧き出すところに行き、近くにお住まいの上原さんからお話を伺いました。雨上がりにもかかわらず、とても澄んでいて冷たく、飲んでみたりペットボトルに入れて持ち帰ったりしました。やわらかくてとてもおいしい水でした。

百聞は一見にしかずで水のきれいさを体で感じる良い機会になったと思います。参加された方から水環境について考えてみたいという声も聞かれとても有意義な一日でした。



▲この池の水が御泉水川となる

体験学習に参加して

坂口郁枝

今回のうえだ環境市民会議の体験学習では蓼科御泉水自然園の源流と武石のお仙が淵と福寿の水を訪ねた。

湿原の中の木道を辿って行くと御泉水の源流は音高くほとばしり、またお仙が淵を流れ下る水の清らかさ豊かさ、案内をして下さった矢島さんのバケツの中の水中生物に川の水のきれいな度合いを知ることが出来て「生物に親しむことで環境を考えるようになり、虫が愛おしくなった。」という話に、地域の川を守ってゆかなければの感を深くした。福寿の水を訪ねた頃には参加者全員が今日の見聞に感動し水の大切さを考えられたであろうことはバスの中で一人一人述べた感想から窺うことが出来、野々村さんの「この機会に何かを考えるきっかけになれば」の言葉どおり、この企画の大きな目的は達成されたと思った。

地球は現在、オイル争奪をしているが、そのうち水の奪い合いになると聞いたことがある。日本は水の豊かな国なので、大切に守らなければ…。

雨の中の駅前美化運動

村山顕

6月9日に「うえだ環境市民会議」として今年1回目の上田駅周辺の美化及び清掃作業を行いました。この日は朝から雨模様で、何人集まってくれるか心配でしたが、この雨の中を開始時刻の9時には17名が、はせ参じてくれました。

作業は大きなプランターに花の苗を植えたり、吸殻やごみ、ペットボトルなど拾い集めたり、敷石の隙間や溝などの雑草取りなどです。2~4人が組になったりして、作業に入りました。小降りで続いている雨も、作業の終わる10時過ぎにはほとんどやみました。作業が終わって「去年よりもごみが減っていた」との感想を言ってくれた人もいました。また、作業を終えた人々はなぜかみんな笑顔があふれていました。

次回は8月11日(土)午前9時より10時30分までを予定していますので、みなさん奮ってご参加ください。なお、駅前清掃作業終了後、打ち水大作戦を行う予定ですので、合わせてご参加ください。



▲プランターに花の苗を移植